

## 会長の挨拶 8      ロータリー思想の特質は何か

細かい議論と解説とは、結論の箇所に譲らなければならないが、ロータリーは一方においては人類平等の思想に立脚し、ロータリアン相互の間のみならずロータリアンと社会一般人の間にも、人間の価値の相違を認めないものだというを理解しておかなければならない。この意味においてロータリーは中世以来ヨーロッパ諸国で根づよくづづけられてきた自由民権運動が宗教戦争の荒廃の中から当時成立しつつあった強大な近代国家に対する国民個人の抵抗運動であったのに対して、ロータリーがあくまで個々の人間の小さな善意が自己と隣人との間に現実的な実感を伴う形で交換され、この光が多数人間に拡大されて行くことによって、人類一般に理解と友愛を招来させようとするものであり、そのような意味において、ロータリーは国家概念を必ずしも前提としないという点が異なるのであるが、個々人の価値を平等に考えること、つまり自己の利己心と他者の利己心とを同質のものとして尊重しようとするという根本的特質においては、両者は少しもその性質を異にすることはないのである。

だがしかし、他方、ロータリーは個々の人間の平等を重要視するの余り、各人の平等への主張がその対等性の故に、管理能力までも喪失させることを前提とするものではない。ロータリーは人間の平等価値を一つの柱とし、そして精神的境地を他の柱とし、管理者に対して、精神的境地を高らしめ、その前提として、通常人よりも重い倫理観と義務の履行を課すことによって、物理力と権力に拠らずして、尊敬と精神的説得力によって、その管理能力の裏付けたらしめているのである。このようにして、ロータリーは現代社会に不可欠な商業企業組織の管理者がその立場に立って冷酷な人間性の喪失に陥ることを防止し、徳を以て世を潤すべき思想に直結するものであることをその根本的特質としているものと言えよう。一言にしていえば、人生はとりもなおさず人のことであり、企業もまた人だということなのである。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)